

2019年3月期 第2四半期 決算説明会資料



基幹カタログ「ベルーナ」



通販サイト「ベルーナ」



アパレル店舗「BELLUNA」



化粧品通販「オージオ」

ベルーナ

2018年11月22日 (木)

1.決算ハイライト	P.2
2.経営方針と取り組み	P.12
3.参考資料	P.30

1. 決算ハイライト

BELLUNA

1. 決算総括
2. 決算概況
3. セグメント別損益
4. 売上の増減分析
5. 営業利益の増減分析
6. 貸借対照表
7. キャッシュフロー計算書
8. 今期予算について

売上高、利益共に業績予想を上回って着地となった

- 売上高は前年比5.7%増で着地
- 営業利益は▲9.0%と減益だったものの予算比では+1.3%で着地
- 経常利益は為替関連損益が寄与し前年比+19.6%の66.2億円
- 当期純利益は前年比▲2.4%の42.3億円での着地となった。

1-2. 決算概況

BELLUNA

売上高 ～ 前年比+5.7%増で予算を上回る

営業利益 ～ 減益となったが店舗販売、専門通販、総合通販などが
予算を上回ったため全体の予算をクリア

経常利益 ～ 為替関連損益がプラスで予算を大幅に上回って着地

単位：億円

連結	18/3期2Q累計	19/3期2Q累計			19/3期
	実績	実績	予算比	前年比	予算
売上高	748.6	791.6	0.2%	5.7%	1,800.0
売上原価	331.9	341.5	0.4%	2.9%	780.0
販売管理費	374.5	411.6	-0.1%	9.9%	870.0
営業利益	42.3	38.5	1.3%	-9.0%	150.0
営業外損益	13.0	27.7	8.2倍	112.9%	5.0
(内、為替関連損益)	(9.4)	(22.4)	-	137.2%	-
経常利益	55.3	66.2	61.4%	19.6%	155.0
当期純利益	43.3	42.3	51.0%	-2.4%	105.0

1-3. セグメント別損益

売上高 ～ 総合通販、ソリューション、プロパティは減収だったものの
主に専門通販や店舗販売が牽引し増収

営業利益～ 専門通販と店舗販売、ファイナンスは増益
総合通販他3セグメントが減益

- ・ 総合通販は秋冬カタログの発行の後ろ倒しなどの影響により減収
- ・ 専門通販は健康食品、看護師向け通販などが収益性改善
- ・ 店舗販売はさが美GHDの連結により増益

セグメント別売上高と営業利益

単位：億円

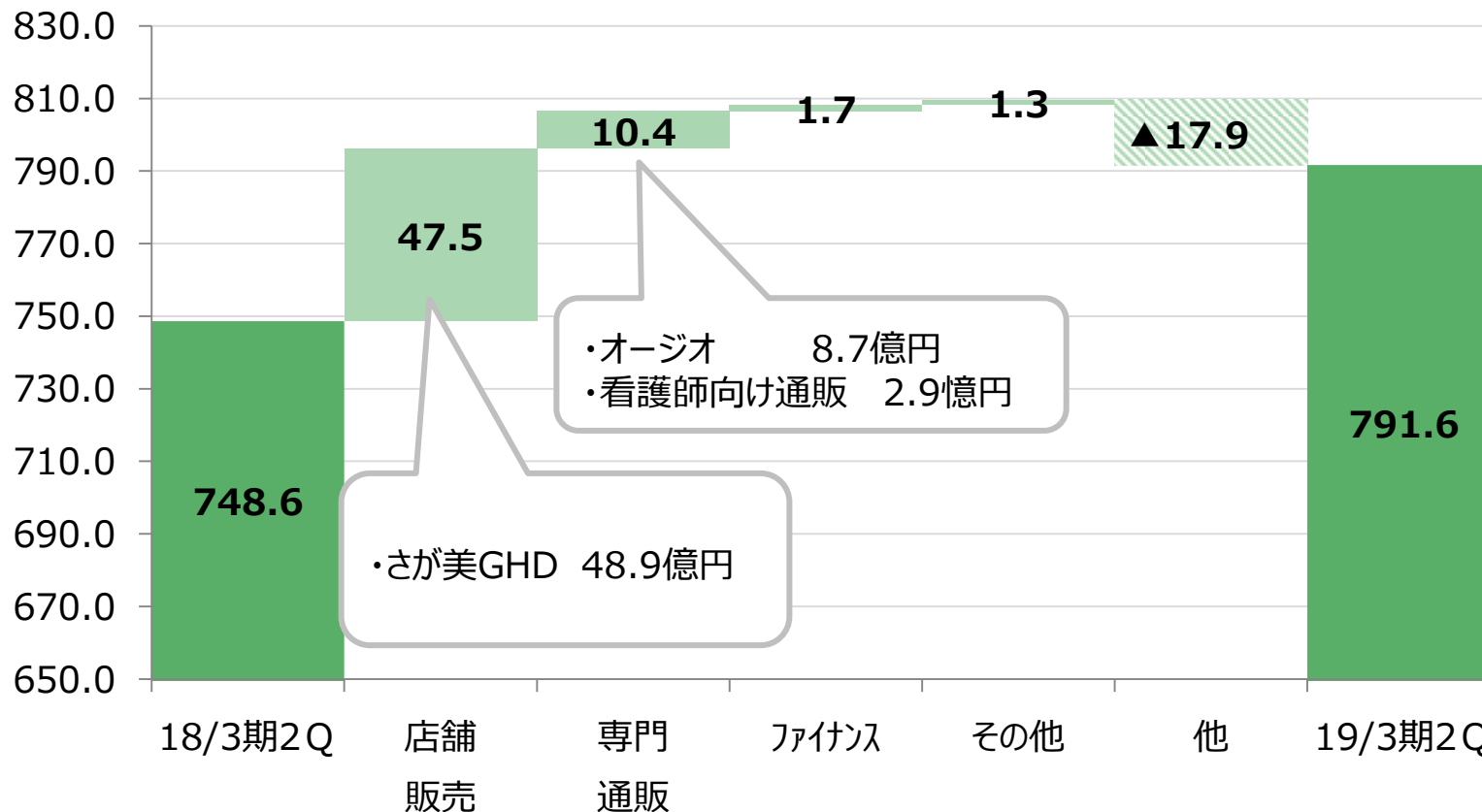
	19/3期2Q累計								
	総合 通販	専門 通販	店舗 販売	ソリューション	ファイナンス	プロパティ	その他	連結 消去	計
売上高	360.2	215.2	120.4	27.2	18.6	32.4	23.3	-5.7	791.6
前年比 (%)	-3.3%	+5.1%	+65.2%	-7.1%	+10.0%	-8.1%	+6.0%	+18.0%	+5.7%
予算比 (%)	-7.4%	-3.5%	+49.0%	-6.9%	-1.0%	-5.4%	-5.0%	-40.2%	+0.2%
営業利益	8.3	11.9	7.9	10.1	8.1	1.8	-5.3	-4.5	38.5
前年比(億円)	-2.6	4.8	2.0	-1.7	0.9	-3.3	-0.7	-3.2	-3.8
予算比(億円)	0.7	0.9	1.7	-0.5	0.0	1.5	-1.2	-2.6	0.5
営業利益率	2.3%	5.5%	6.6%	37.2%	43.7%	5.7%	-22.5%	78.7%	4.9%

1-4. 売上の増減分析

店舗販売はさが美GHDの連結もあり増収
専門通販は化粧品事業のオージオを中心に増収

売上高の増減要因

単位：億円

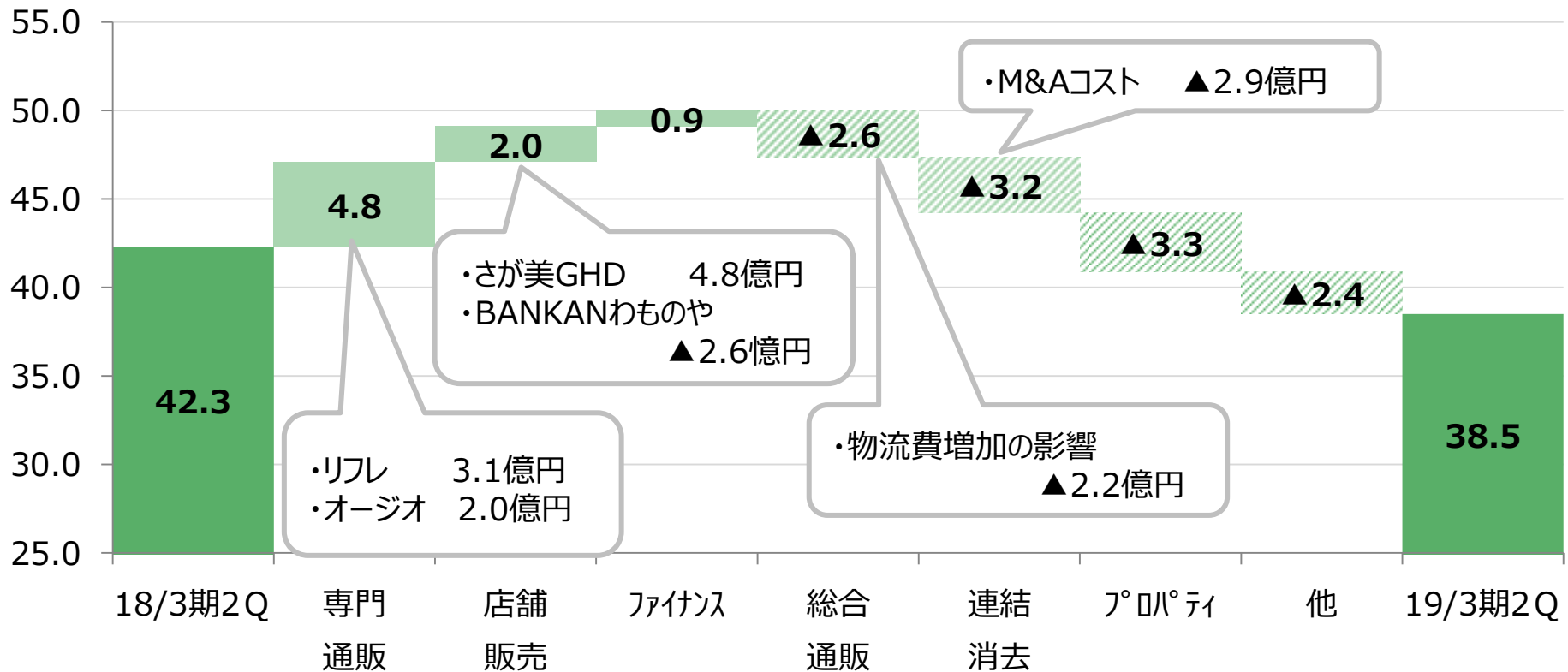


1-5. 営業利益の増減分析

専門通販は健康食品事業のリフレの収益改善や化粧品事業のオージオの増収効果などにより増益。一方、連結消去はM&Aによる取得関連コストの影響があり、またプロパティ事業は不動産の売却がなかったことなどにより減益。

営業利益の増減要因

単位：億円



1-6. 貸借対照表

BELLUNA

流動資産では営業貸付金、商品及び製品などが増加。

固定資産では主に有形固定資産が増加。

これに対し、負債では有利子負債が主に増加

単位：億円

	18/3末	18/9末	増減額
流動資産	899.9	939.6	39.7
営業貸付金	208.1	221.0	12.9
商品及び製品	179.8	219.1	39.3
固定資産	1,059.6	1,150.7	91.2
有形固定資産	755.5	823.3	67.8
投資その他資産	186.7	211.1	24.4
総資産	1,959.5	2,090.3	130.8
負債	1,028.9	1,114.5	85.6
有利子負債	631.2	692.0	60.7
純資産	930.6	975.8	45.2
利益剰余金	718.1	754.3	36.2
【自己資本比率】	【47.1%】	【46.0%】	【-1.1P】

1-7. キャッシュフロー計算書

子会社株式の取得による支出などにより投資CFがマイナス
 長短借入金が増加し全体としてキャッシュは44.2億円減少した

単位：億円

	18/3期 2Q	19/3期 2Q累計	
	累計	実績	前年比
営業活動によるキャッシュフロー	12.5	12.4	-0.2
税金等調整前当期純利益	60.2	65.4	5.2
デリバティブ評価損益	-3.4	-17.0	-13.5
法人税等の支払額	-28.5	-19.0	9.5
投資活動によるキャッシュフロー	-72.1	-104.7	-32.6
投資有価証券の取得支出	-15.3	-4.4	10.9
子会社株式の取得による支出	0.0	-49.2	-49.2
財務活動によるキャッシュフロー	26.7	48.1	21.4
長短借入金の増減	58.1	56.8	-1.3
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-22.3	0.0	22.3
キャッシュに係る換算差額	0.3	0.1	-0.3
キャッシュ増減	-32.5	-44.2	-11.7

設備投資*1

42.6億円

減価償却費*2

12.5億円

*1: 設備投資額には、ソフトウェアなどの無形固定資産およびリース資産への投資額も含む *2: 減価償却費には、無形固定資産関連の償却や長期前払費用も含む

1-8. 今期予算について

BELLUNA

直近2期は売上高、経常利益について予算達成

営業利益についてもほぼ予算通りの実績

今期は売上高～当期純利益まで計画達成できる見込み

単位：億円

連結	17/3期		18/3期		19/3期	
	予算	実績	予算	実績	予算	前年比
売上高	1,400.0	1,460.8	1,600.0	1,616.7	1,800.0	+11.3%
営業利益	110.0	108.8	130.0	130.1	150.0	+15.3%
経常利益	110.0	121.9	135.0	132.5	155.0	+17.0%
当期純利益	70.0	58.0	88.0	96.7	105.0	+8.6%
有利子負債	430～480	520.8	530～580	631.2	660～710	+4.6～12.5%
純資産	865.0	877.7	929.3	930.6	1,020.0	+9.6%
ROE	8.1%	7.0%	9.5%	10.9%	10.8%	-0.1P

1-8. 今期予算について

BELLUNA

総合通販の着実な進捗と専門通販の増収と収益性改善による増益により、今期は営業利益予算をクリアする見込み

セグメント別の予算

単位：億円

	19/3期 予算								
	総合 通販	専門 通販	店舗 販売	ソリューション	ファイナンス	プロパティ	その他	連結 消去	計
売上高	840.2	504.1	167.4	62.6	38.4	125.1	74.2	-12.1	1,800.0
前年比 (%)	+6.9%	+9.6%	+17.4%	+2.5%	+11.1%	+65.0%	+14.0%	+38.6%	+11.3%
営業利益	43.6	37.1	10.1	23.0	17.5	17.2	4.1	-2.6	150.0
前年比(億円)	1.0	10.5	-1.5	-0.7	1.8	6.9	1.9	0.1	19.9

2. 経営方針と取り組み

BELLUNA

1. 総合通販事業
2. 専門通販事業
3. 店舗販売事業
4. プロパティ事業
5. 新規事業の展開
6. 株主還元

2. 経営方針 ～外部環境

BELLUNA

経営計画は、外部環境の変化（消費環境の変化や
ネットの伸長）に対応

外部環境

- ・ デフレマインドの継続
- ・ カタログ通販の不振
- ・ ネットの伸長
- ・ 物流環境の変化

内部環境

- ・ ポートフォリオ経営の熟成
- ・ M&A企業対応
- ・ 各事業成長性の促進

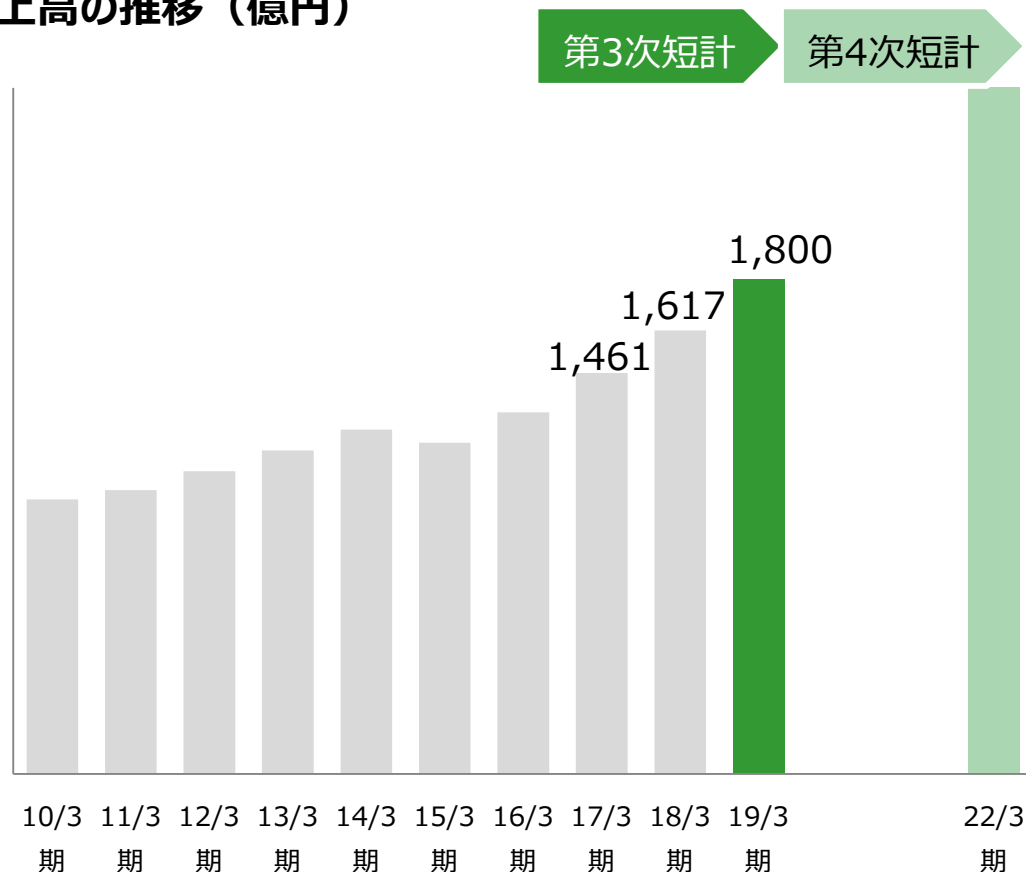
2. 経営方針

BELLUNA

今期は第3次短計の最終年度

今期の業績予想達成と第4次短計へ向けて

売上高の推移（億円）



- 過去最高の売上高、営業利益達成に向けて取り組んでいる。
- 外部環境が大きく変化する中変化を折込み成長につなげた
- 業績予想達成と併せて第4次短期経営計画を見据えた土壌作りも進めていく

主力4事業の拡大

1. **総合通販事業**の安定的な成長
2. **専門通販事業**の拡大
3. **店舗販売事業**の拡大と収益改善
4. ポートフォリオの成熟に向けた**プロパティ事業**の強化

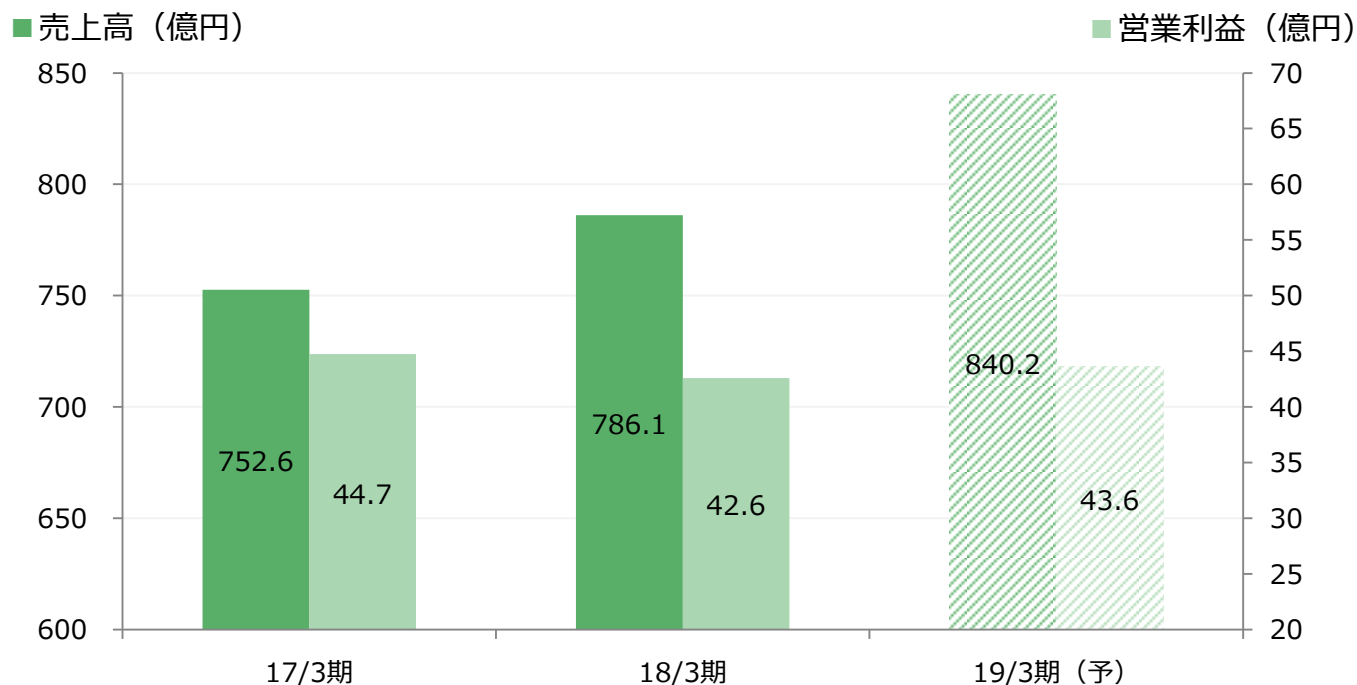


2-1. 総合通販事業

(1) 総合通販の状況

宅配便ショックによる影響は一部残るものの成長性と収益性を高める施策に取り組み第4次経営計画へ向けた土壌作りを進めている。

1. インナー、メンズの強化
2. ネットの強化
3. リユリユ（若年層）の強化
4. カタログ、ネット、店舗のシナジー効果



カタログ販売の拡大

第4次短期経営計画（最終年度）

総合通販売上高1,000億円を目指す

1. 紙の復活
2. 紙の露出を増やす
3. 商品力の強化
4. 客指向客密着

ネットの強化

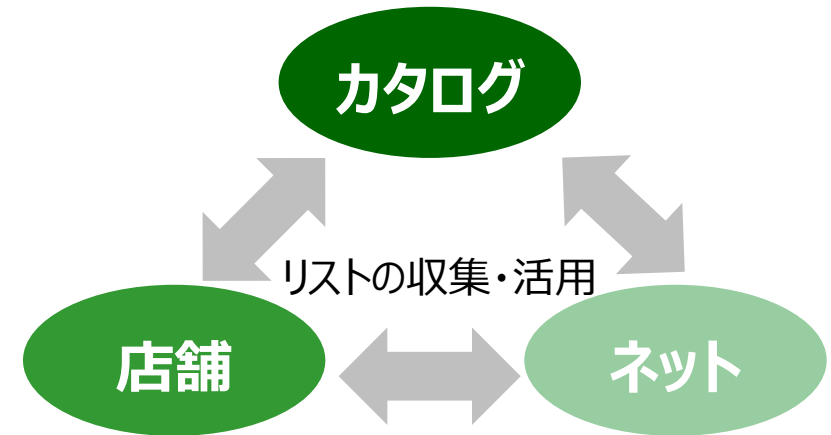
第4次短計へ向けての土壌作りに注力

1. ネット専用商品の投入
2. 定番商品の継続拡充
3. 制作、運用のブラッシュアップ
4. ネットショッピングモール
 - (1) システムの開発
 - (2) 出店数拡大

カタログ、ネット、店舗のシナジー効果

1. 相乗効果により相互（カタログ、ネット、店舗）に効率改善

- (1) 通販のレスポンス向上
- (2) ネットのCVR向上
- (3) 店舗の拡充



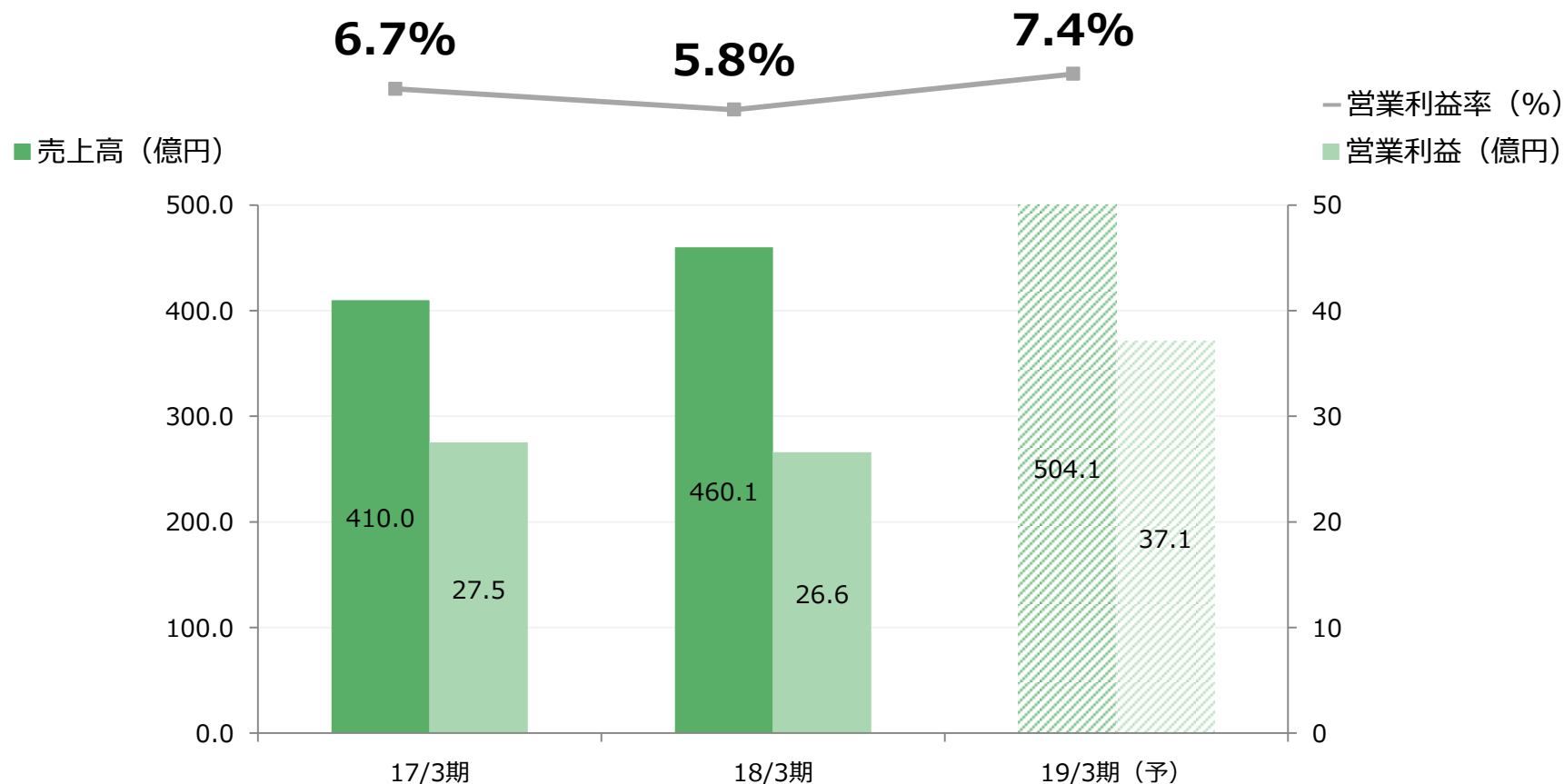
2. 広告宣伝費の投入

- (1) ボリューム増加により吸収できる体制

2-2. 専門通販事業

BELLUNA

専門通販の育成に力を注ぐ。特に化粧品通販オージオの成長に期待。国内、海外の展開強化を進める。



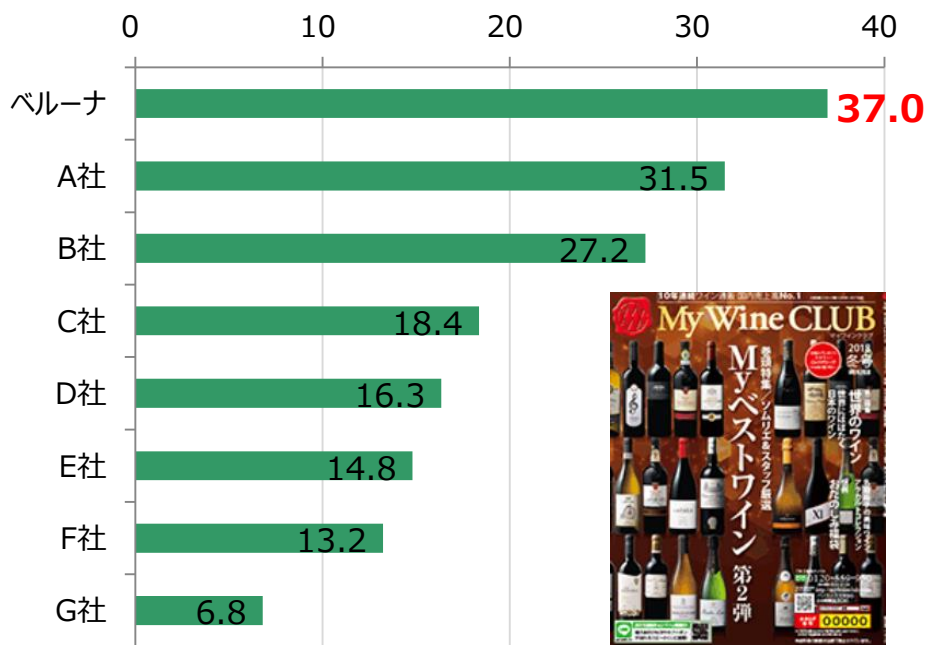
2-2. 専門通販事業：専門通販売上No.1

BELLUNA

ワイン通販で10年連続、日本酒通販で2年連続で売上No.1となった（東京商工リサーチ調べ）

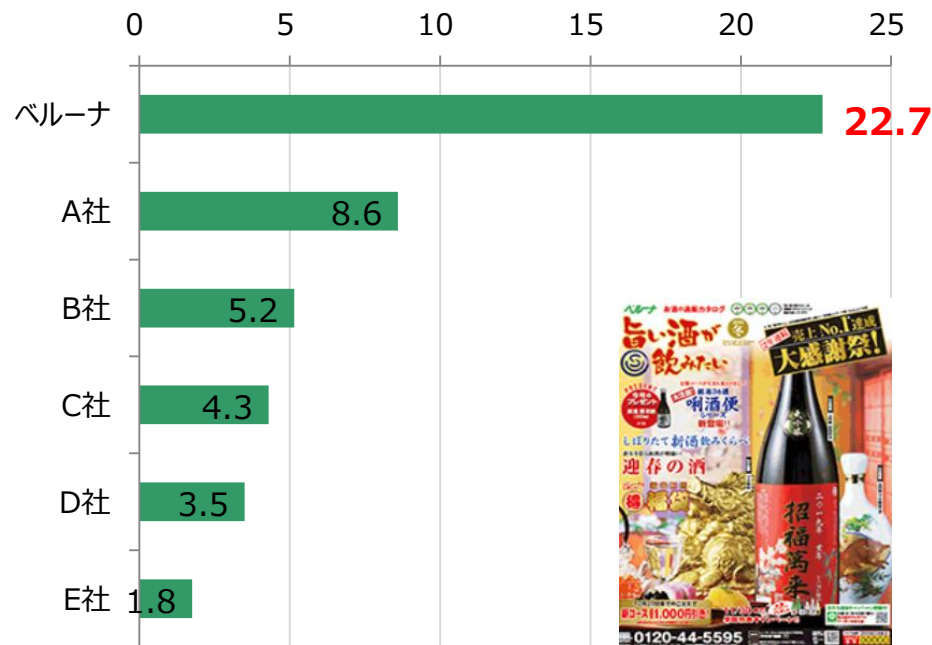
ワイン通販10年連続国内売上高No.1

「ワイン通販国内売上高ランキング」（単位：億円）



日本酒通販2年連続国内売上高No.1

「日本酒通販国内売上高ランキング」（単位：億円）

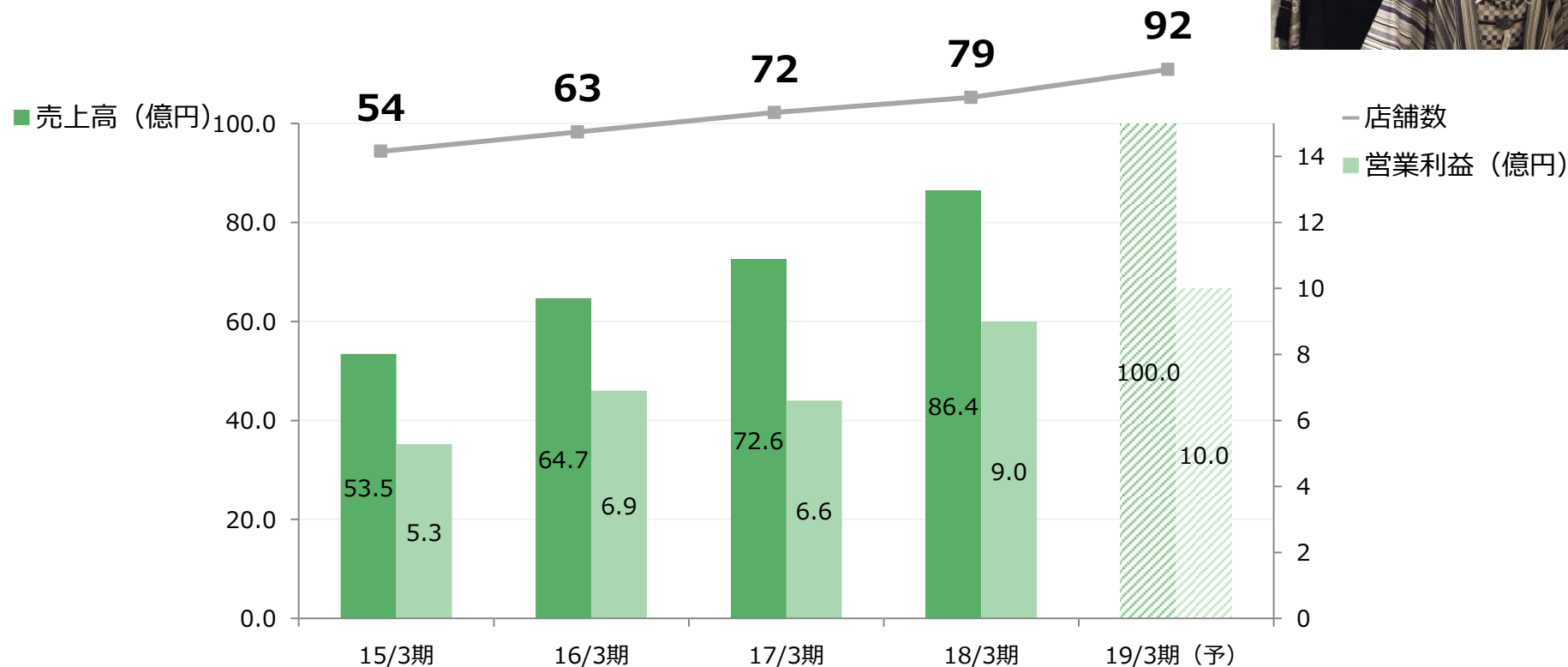


※2017年度／東京商工リサーチ調べ

2-3. 店舗販売事業：和装店舗（BANKANわものや）

今期は3店舗出店し、18/9末で82店舗となった。納品の遅れなどの影響で上半期は減収減益となったが下半期で挽回し予算達成を目指す。

BELLUNA



2-3. 店舗販売事業：和装店舗（さが美GHD）

6月22日付で和装事業を展開する
さが美グループホールディングス(株)
の株式を取得し連結子会社化

会社名	さが美グループホールディングス株式会社 株式会社さが美 株式会社東京ますいわ屋
所在地	神奈川県平塚市
設立日	1974年4月
主な事業	和装事業
取得日	2018年6月
資本金	5,258百万円

<さが美>



<東京ますいわ屋>



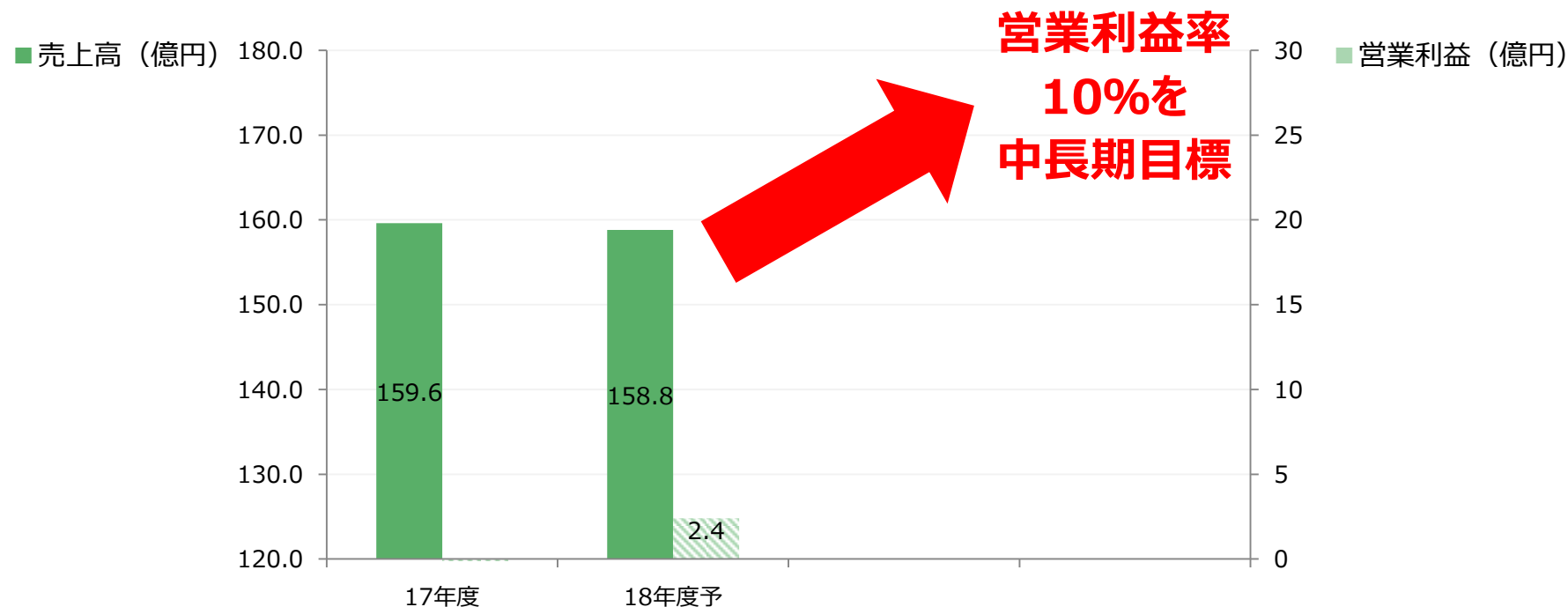
BELLUNA

2-3. 店舗販売事業：和装店舗（さが美GHD）

BELLUNA

さが美グループの再建～営業利益率目標10%達成を目指す～

- 処方箋：
- 1.意識改革
 - 2.分母と分子のバランス
 - 3.成長軌道への復活
 - 4.着物文化の復興
 - 5.あせらずじっくり取り組む



2-3. 店舗販売事業：アパレル店舗

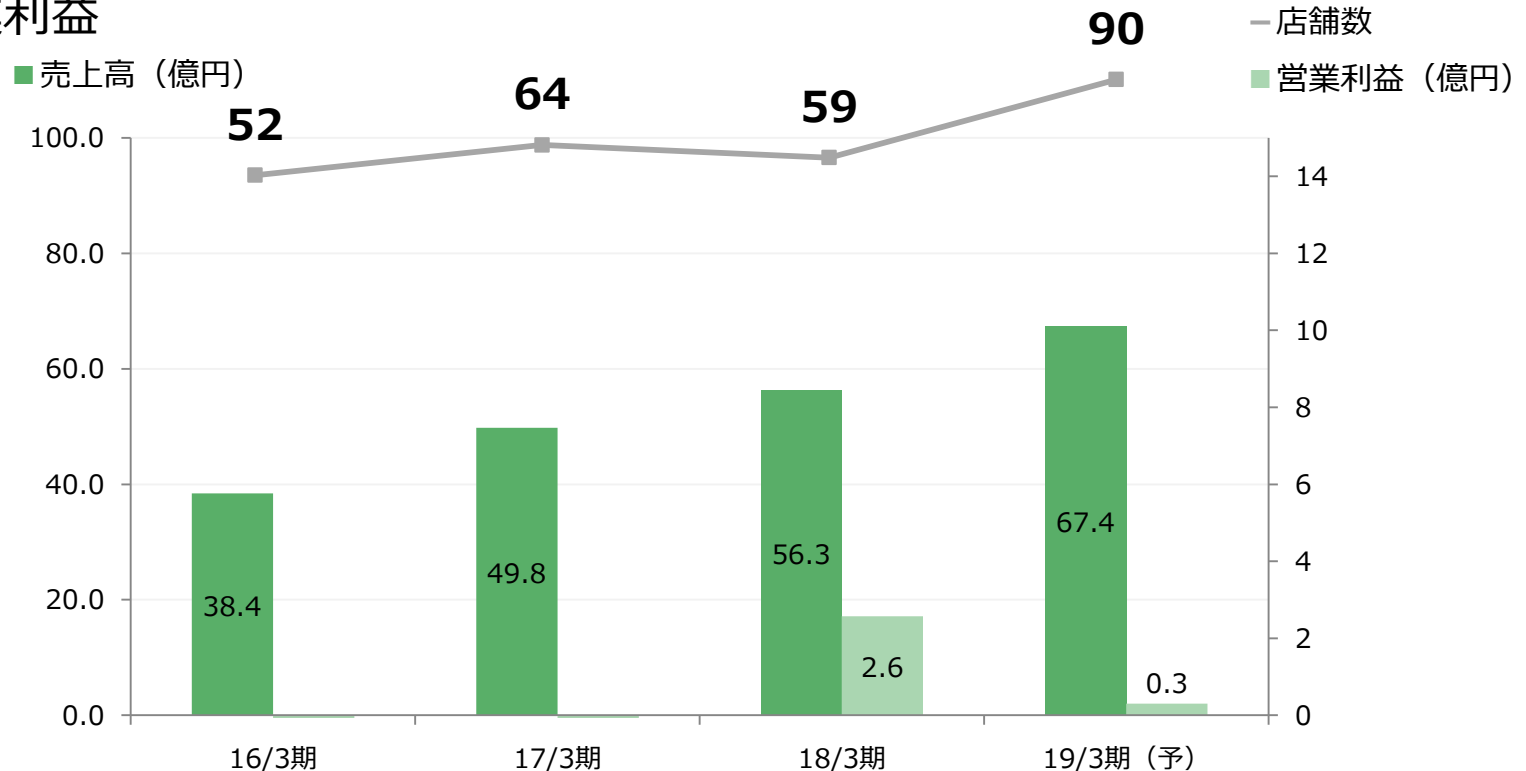
200店舗体制を目指す

出店計画	2019/3期	30店舗
	2020/3期	40店舗
	2021/3期	50店舗
	2022/3期	20店舗



±10%程度の誤差で計画達成

売上高・営業利益



2-4. プロパティ事業

BELLUNA

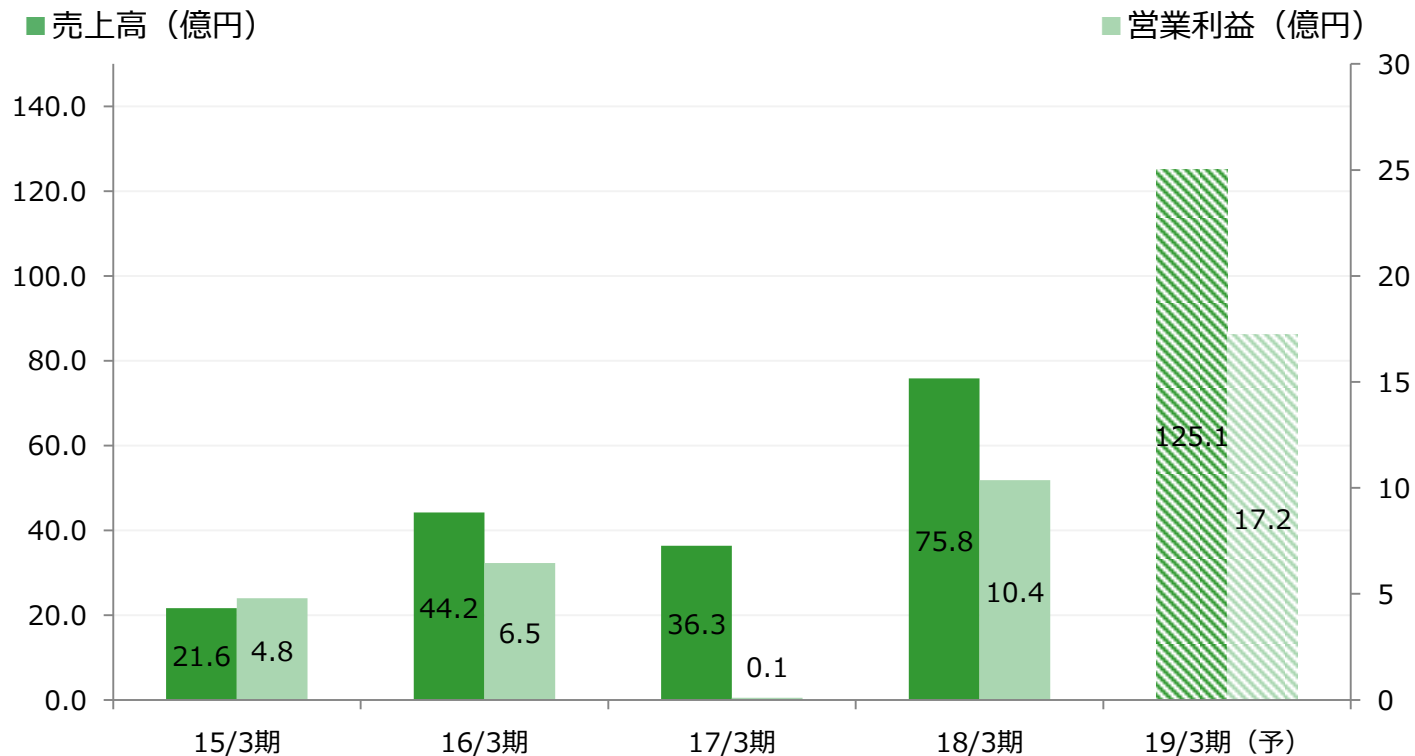
今期は3ホテルがオープン。賃貸事業、ホテル事業、開発事業をバランスよく運営

<開業ホテル>

7月 ルグランゴールホテル

7月 ルグラン軽井沢ホテル&リゾート

10月 ウェスティン・モルディブ・ミアンドゥーリゾート



1. ナース事業の横展開

～データベースを活かした事業開発～

(1) ナース向け人材紹介

2. ミニベルーナの海外展開

(1) 現地にフィットしたベルーナモデルの展開

例：化粧品、健康食品、ナース事業、プロパティ事業等

2-6. 株主還元

配当について2.5円の増配を実施

<年間配当>

	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期予
EPS (円)	36.45	59.68	99.41	107.99
配当 (円)	12.5	12.5	12.5	15.0

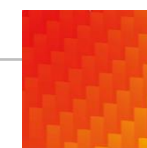
<株主優待>

[内容]	100株以上	500株以上	1,000株以上
総合通販事業の優待券 またはベルーナネットで使用できる優待クーポン またはグルメ・ワイン商品詰め合わせ	1,000円分	3,000円分	5,000円分
裏磐梯レイクリゾート宿泊優待券	1枚	2枚	4枚
ルグラン旧軽井沢宿泊優待券	1枚	1枚	1枚

[対象]

3月末・9月末時点で、当社株式100株以上を保有している株主様（年2回）

※ルグラン旧軽井沢の宿泊優待券は、年1回（12月上旬発行分）のみの贈呈となります。



株主様
ご優待券



今年度は第三次短期経営
計画の最終年度。経営基盤
の一層の強化に取り組みたい

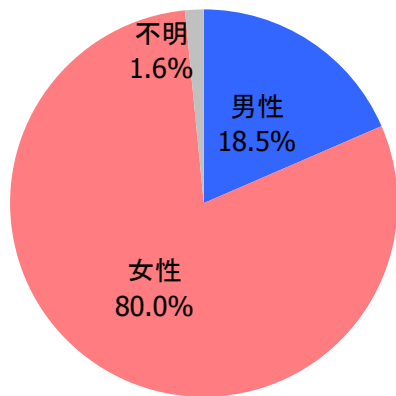
3. 参考資料

BELLUNA

【総合通販】登録会員の特徴

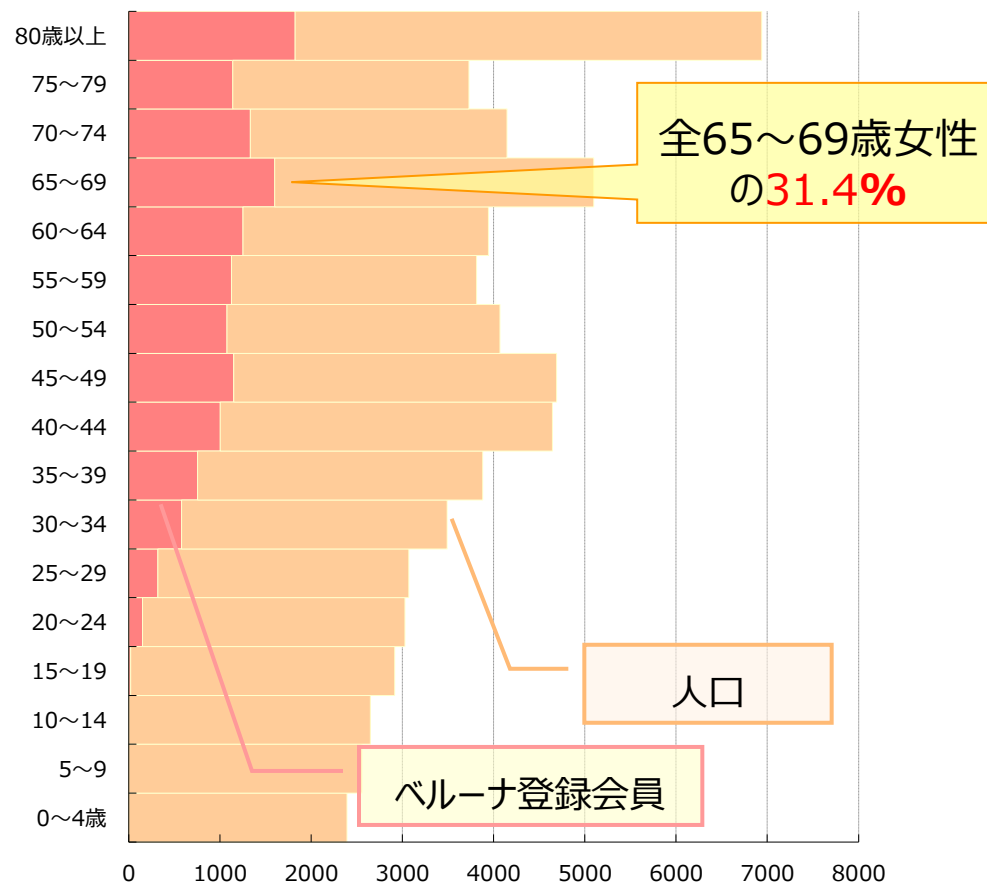
登録会員の特徴（2018年3月末時点）

<性別>

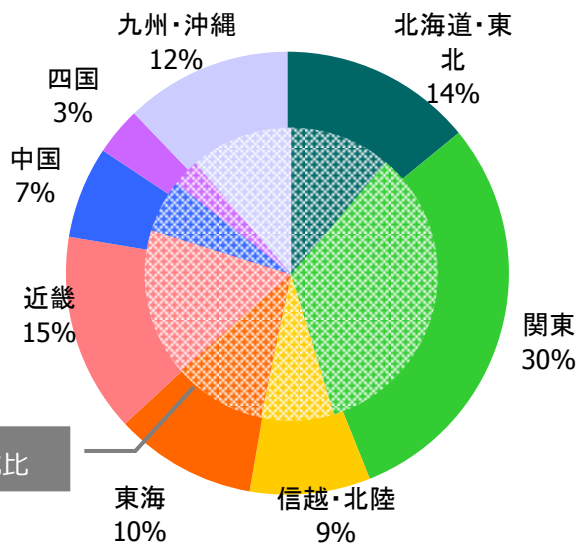


<人口ピラミッドとの比較（女性のみ）>

単位：千人



<地域>



地域別の人口構成比

※総務省統計局データを元にベルーナにて作成

第三次短期経営計画（セグメント別）

BELLUNA

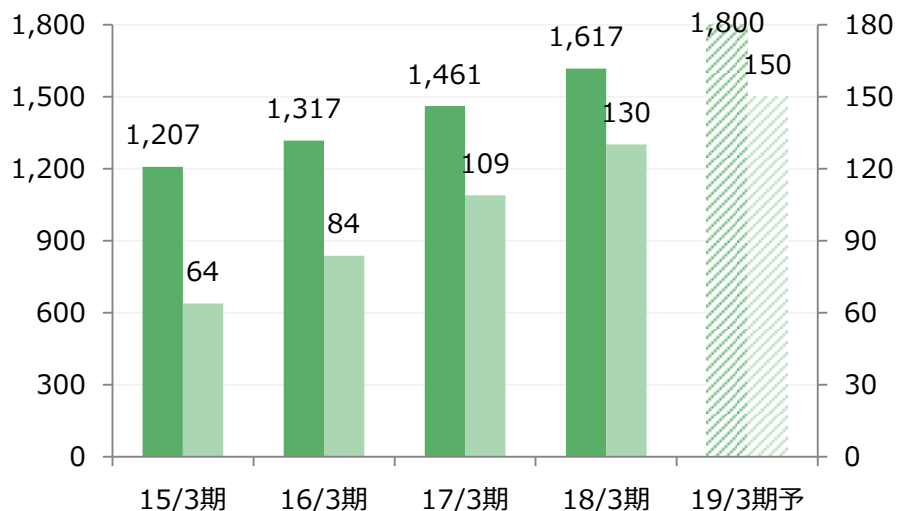
単位：億円

		2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
		実績	実績	実績	実績	実績	計画
売上高	総合通販	753.9	692.1	699.7	752.6	786.1	840.2
	専門通販	272.7	320.3	368.4	410.0	460.1	504.1
	店舗事業	61.2	73.5	103.1	122.3	142.7	167.4
	ソリューション事業	46.4	47.1	44.2	54.3	61.1	62.6
	ファイナンス事業	38.8	26.2	45.8	30.9	34.6	38.4
	プロパティ事業	55.5	21.6	28.5	36.3	75.8	125.1
	その他	30.1	30.9	33.0	60.5	65.1	74.2
	調整	-4.5	-4.9	-5.3	-6.2	-8.8	-12.1
	合計	1,254.1	1,206.9	1,317.4	1,460.8	1,616.7	1,800.0
営業利益	総合通販	15.8	24.2	33.8	44.7	42.6	43.6
	専門通販	15.4	12.3	15.0	27.5	26.6	37.1
	店舗事業	2.5	1.6	2.0	1.5	11.6	10.1
	ソリューション事業	20.4	15.6	19.9	24.2	23.7	23.0
	ファイナンス事業	10.7	9.9	9.6	11.8	15.7	17.5
	プロパティ事業	16.6	4.8	6.5	0.1	10.4	17.2
	その他	-2.4	-2.8	-1.3	2.0	2.2	4.1
	調整	-1.1	-1.8	-1.9	-2.9	-2.7	-2.6
	合計	78.0	63.8	83.7	108.8	130.1	150.0

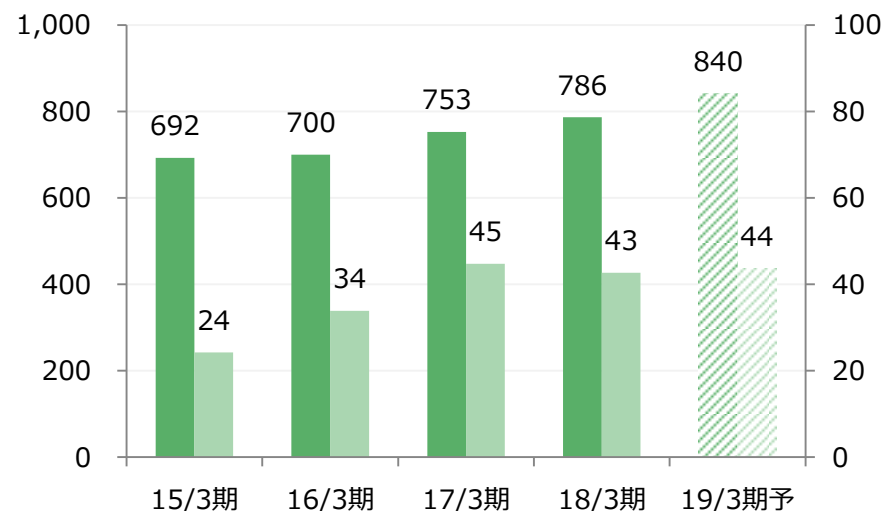
※(株)マイムは店舗販売からその他セグメントに区分変更

セグメント別

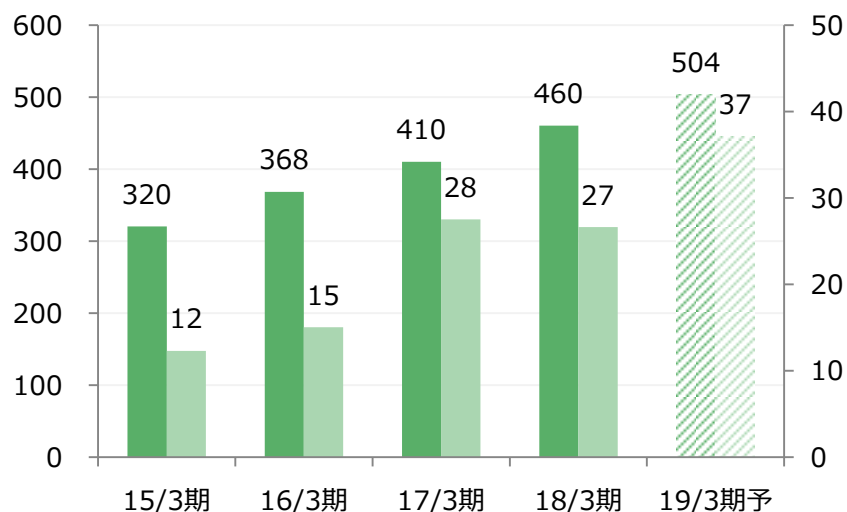
<連結合計>



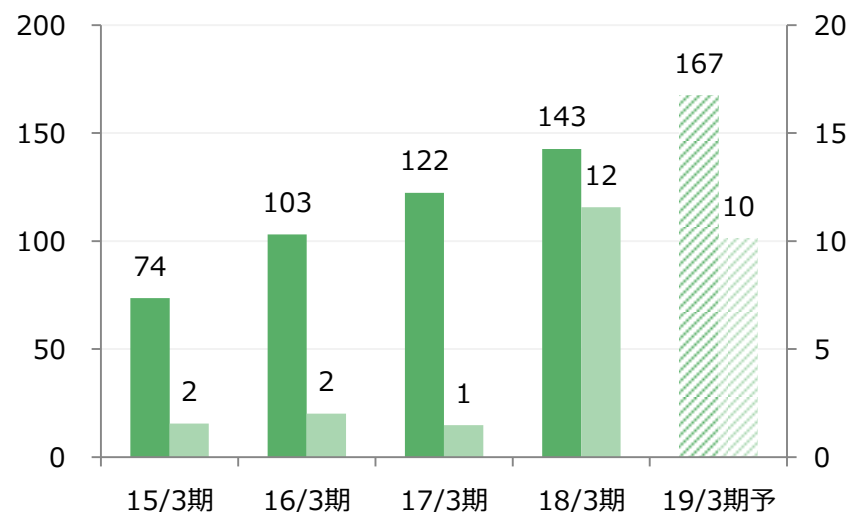
<総合通販事業>



<専門通販事業>

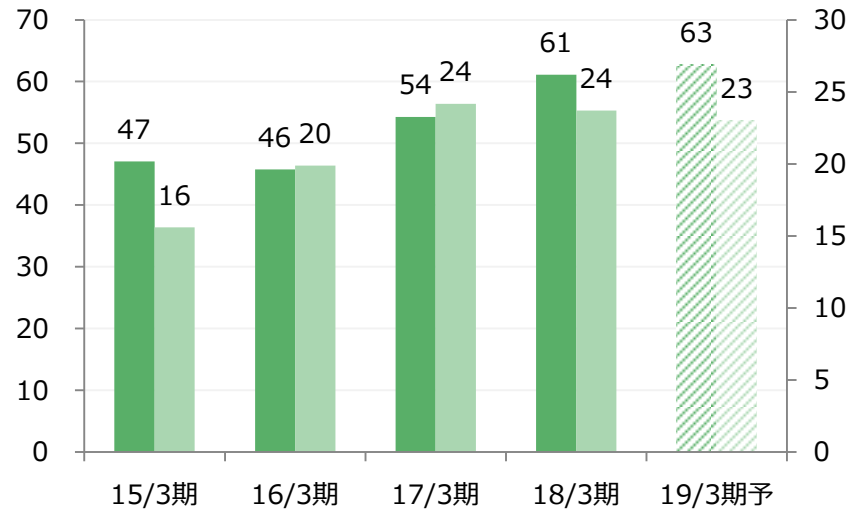


<店舗販売事業>

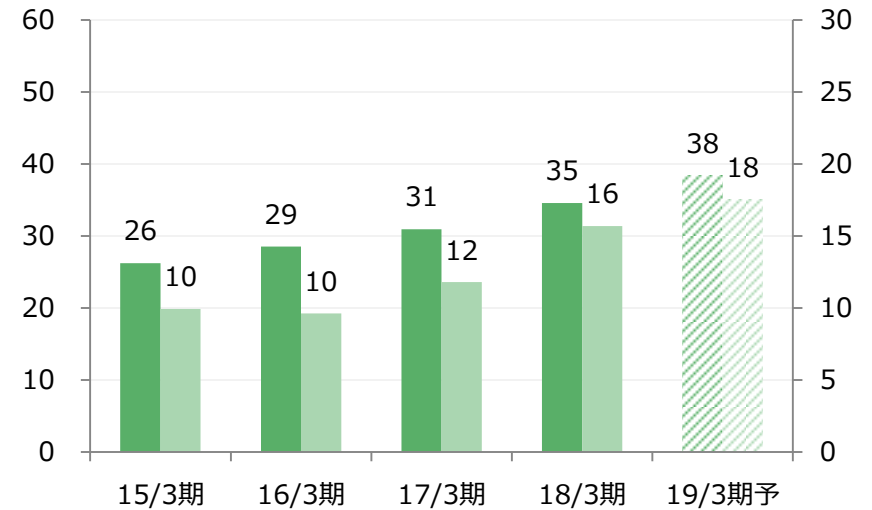


セグメント別

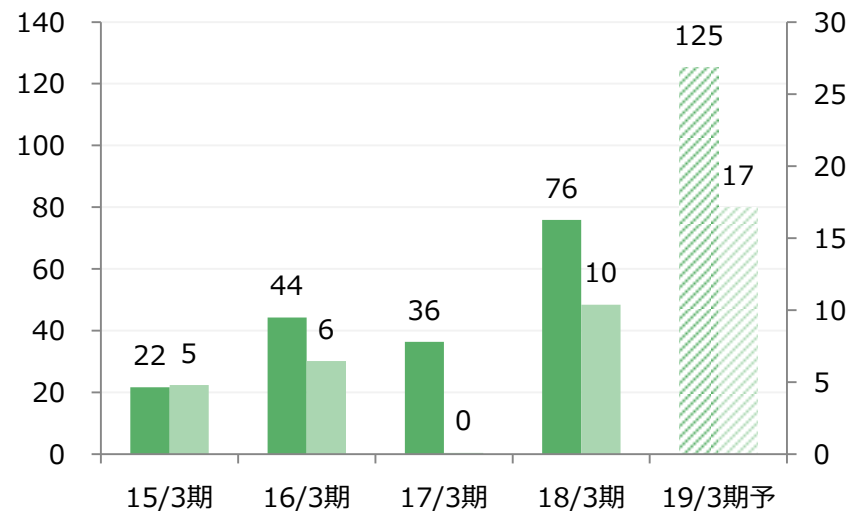
<ソリューション事業>



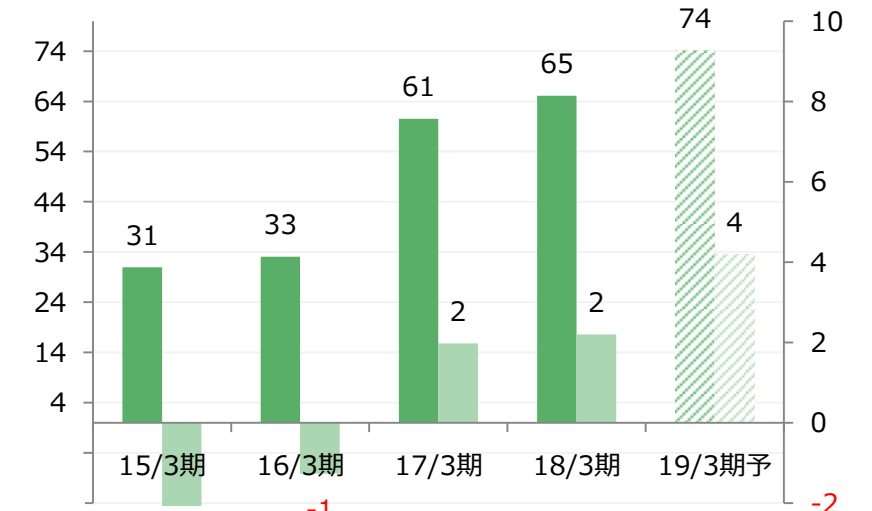
<ファイナンス事業>



<プロパティ事業>



<その他の事業>



<本資料に関する注意事項>

本資料は、2019年3月期第2四半期決算業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2018年11月22日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

<IRに関するお問い合わせ先>

株式会社ベルーナ 経営企画室 IR担当 麻生

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4-2

TEL : 048-771-7753

FAX : 048-775-6063

E-mail : ir-belluna@belluna.co.jp